



No. 1 0
発行：成田市教育委員会



成田市では、中学校、義務教育学校後期課程で実施されている休日の部活動を令和7年8月末までで停止することを目指し、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる」という意識のもと地域クラブを立ち上げ、地域の持続可能で多様な環境一体的な整備を進めています。



部活動の地域移行に関する意見交換会開催

12月17日に、成田市内の公立小中学校を対象とした、部活動の地域移行に関する意見交換会を開催しました。市内全ての学校から担当教員に集まっていた他、成田市校長会長、成田市副校長・教頭会長、小中体連印旛支部事務局長にもご参加いただき、様々な視点から質問やご意見をいただくことができました。

また、今まで多くの時間を使い部活動に取り組んでいただいていた先生方に対しても、ワークライフバランスを考えた働き方を実施していただくために、以下の点について話をさせていただきました。

- 「地域クラブ」は、学校の教育活動ではないこと。
- 基本的には、教職員にお願いするのではなく、受託業者が地域クラブの指導者を確保すること。
- 教職員が地域クラブの指導を希望する場合も「教員」という立場ではなく、「地域の指導者」としてのスタンスで指導すること。

今後、多くの生徒が地域クラブに所属し、活動することと思いますが、その際に生じる諸々の課題につきましては、学校が対応するのではなく、地域クラブ指導者もしくは、受託業者となりますので、保護者の皆様にもご承知おきいただければと思います。

また、令和7年9月以降の部活動の地域移行につきましては、現在調整を図っております。具体的な内容が決まり次第、生徒、保護者や地域の皆様、そして学校教員へと、周知を図ってまいりますので、今しばらくお待ちください。

月謝を払って地域クラブに参加するメリットは？

現在はモデル事業として進めている地域クラブですが、モデル事業期間中は、千葉県からの委託金を活用して進めているため、受益者負担（いわゆる月謝）は発生しておりません。

今後モデル事業が終了し、地域クラブ活動が本格的にスタートすると、各ご家庭は月謝を払って活動に参加することになります。野球やサッカースクール、塾などの「習い事」と同じになると思っただけだとわかりやすいかもしれません。

では、現状の習い事のチームと、地域クラブのチームでは、一体何が違うのでしょうか。

一番大きな違いと思われるのが、「小中体連の大会への参加方法」が考えられます。小中体連が主催する大会は主に夏に行われる「総合体育大会」や秋に行われる「新人戦」があります。

これらの大会には、習い事のクラブチームは、種目によっては参加ができないことがあります。その点、地域クラブについては、小中体連からすべての種目において「問題なく出場できる。」との通知がすでにあり、生徒たちがより多くの出場機会を得ることが可能となります。

今後も、地域クラブとしてできることをお知らせしてまいります。

令和7年9月以降、休日の部活動は地域に移行され地域クラブとして活動することを目指しています。委託先であるオークスベストフィットネスでは、今後の地域クラブの指導者を募集しています。スポーツに限らず指導について興味がある方、指導をしたいという方は二次元コードよりお申し込みください。

連絡先:0476-20-1582 kyoshido@city.narita.chiba.jp (成田市教育委員会)



指導者登録用
二次元コード